

知事会議の開催結果について

1 第 26 回紀伊半島知事会議

- (1) 開催日 平成 27 年 7 月 21 日(火)
- (2) 開催場所 三重県尾鷲市(三重県立熊野古道センター)
- (3) 概要
 - インバウンド対策について、サミット開催を好機と捉え、効果的な情報発信や環境整備等を展開し、3 県が連携して誘客促進に取り組むこととしました。
 - 移住・定住策について、引き続き、3 県が協力して紀伊半島地域の魅力等を PR していくとしたほか、若者の地元定着に向けて情報交換していくこととしました。
 - 「紀伊半島地域の幹線道路網の整備」、「熊野川の総合的な治水対策」、「計画的な農業農村整備」について、3 県で国へ要望していくこととしました。
 - リニア中央新幹線について、三重・奈良ルート of 早期実現、東京・大阪間の全線同時開業に向けて、今後も、3 県で情報交換していくこととしました。
 - 森林の持つ公益的機能に鑑みた放置森林対策や健康寿命の延伸に関する取組について議論を行い、今後、3 県で情報交換していくこととしました。
 - ドクターヘリの和歌山・三重間での相互応援や奈良・三重間での共同運用について議論を行い、会議後に、3 県でドクターヘリの広域連携に係る基本合意書を締結しました。

2 全国知事会議

- (1) 開催日 平成 27 年 7 月 28 日(火)～29 日(水)
- (2) 開催場所 岡山県岡山市
- (3) 概要
 - 地方創生及び少子化対策について協議が行われ、国に対して提言を行うこととしました。

鈴木知事から、地方国立大学の運営費交付金について、(大学間での増減ではなく、)全体が拡充されるよう働きかける必要があること、また、地域少子化対策強化交付金の恒久化に向けて、強力に取り組を進める必要があることについて発言されました。

また、石破地方創生担当大臣との意見交換も行われ、地方創生に関する国への提言については、同大臣に手交されました。
 - 地方税財源の確保・充実、女性の活躍推進のための環境整備、地域経済の再生等について協議が行われ、これらについて国に提言していくこととなりました。
 - スポーツ基盤施設の整備や更新等に対する支援等について協議が行われました。

また、遠藤東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣との意見交換が行われ、国への提言については、同大臣に手交されました。

- 地方分権改革に関し、提案募集方式等に基づく改革の推進、国と地方の役割分担の見直し、国と地方の協議の場の積極活用等について協議が行われました。
また、農地転用許可権限の移譲について、農地・農村臨時部会長である鈴木知事から、今後の事務の適切な運用や市町村との調整等について協力を依頼しました。
- 全国知事会の新たな政策課題として、「憲法と地方自治」について取り組むこととし、有識者による研究会を立ち上げることとなりました。